

オリエントナノ便り

お客様各位

拝啓 初秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日3日間鹿児島に出張に行って参りました。

着いた日は台風の影響で車の移動中スコールのような雨でしたが、現場に入ると雨はピタッと止み陽が差してきました。仕事が終わって現場を後にすると又激しい雨！！

前回もこの現場にお邪魔した時に同じような現象が起こり、なんとも不思議な気持ちになりました。思わず「有難いなあ」と心の中で手を合わせてしまいました。

翌日はカラッとした秋晴れであちこちに赤と白の曼珠沙華が凛と咲いていました。

彼岸花という名称の花言葉は「情熱」「悲しい思い出」「独立」「再会」「あきらめ」

曼珠沙華と言う名称は仏教の経典から来ていて「天界に咲く花」という意味のようです。

桜とは醸し出す雰囲気は全く違いますが、葉もなく一気に花だけ咲くのは桜と同じですね。

桜からは命の始まりのようなエネルギーを感じますが、曼珠沙華は命の終わりを吊っているかのように感じます。

又別のお話ですが、9月の最終日曜日に青山にある「音と言葉“ヘイデンブックス””と言う本屋+カフェで久々に感動的なライブを聴きました。

大口純一郎さんのピアノと金子飛鳥さんのボイスとバイオリンのジョイントコンサートでした。大口さんはジャズピアノの巨匠で、飛鳥さんは様々な音楽で世界のミュージシャンとコラボしている方なのですが、今回の演奏は音楽のジャンルを超えて空間が広がっていくような演奏で、聴いていて普段決して私の小さな脳みその中ではイメージ出来ないような心象風景が浮かんで来てビックリしました。

お二人ともクラシック音楽の緻密な技法を持った上で更に自由な世界で呼吸しあっているような音の世界でした。心身ともにリラックスし言葉を越えた素敵な時間でした。

芸術の秋と言いますが、たまには仕事を離れたこんな時間も「よ・い」ものですね。

充電させて戴きましたので、新たに仕事に励みたいと思っています。

何卒今後とも宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成26年9月30日

代表取締役 花輪麻美

